

📷 サルビアで砂の祭典を華やかに



4月28日、吹上浜砂の祭典会場に飾る花のプランター引き渡し式が常潤高校で行われ、食農プロデュース科の2年生が育てた紫色のサルビアの花50箱200株が砂の祭典実行委員に引き渡されました。2年生の上拾石拓海さんは「プランターへの植替え作業で花が痛まないように細心の注意を払った。砂の祭典で砂像や街を彩ることで、花を見た人が笑顔になれば嬉しい」と話しました。

📷 子どもの健やかな成長を願い



5月5日、坊津町泊の九玉神社で端午の節句の伝統行事である唐カラ船祭りが行われました。新型コロナウイルスの影響で神事みの開催でしたが、自主参加は可能としたところ新聞紙のかぶとと浴衣姿の男児10名が唐カラ船を引いて元気に参拝しました。自治会の田中茂穂会長は「コロナで参加できなかった小学生の姿もあった。来年こそは通常通りに開催できれば」と話しました。

📷 バーレーン砂像にサイン



5月2日、日本と中東バーレーン王国の外交関係樹立50周年を記念し、アハメッド・アルドーセリ駐日大使が吹上浜砂の祭典の開催に合わせ本市を来訪しました。3年前の来鹿の際に砂像の写真を目にして砂像文化に感銘を受けた大使は、バーレーンを表現した砂像に感激した様子で「素晴らしい歓迎に驚いています。南さつま市や鹿児島県とも協力して日本との関係を深めていきたい」と話しました。

📷 生徒の教育と交通安全のために



4月21日、加世田ライオンズクラブが結成60周年記念事業の一環として、教育教材の有効活用と交通安全教育のために、タブレット用タッチペン2,400本と横断歩道旗200本を、市内小・中・義務教育学校へ寄贈しました。贈呈式に参加した川畑小学校6年生の上村蒼偲さんと下釜羅夢さんは、「安全に登校できるようになり、勉強もしやすくなった。これからより一層勉強を頑張りたい」と感謝の言葉を述べました。